

## 思いをもって簡単な音楽をつくらう ～くり返しを意識して、音楽をつくらう～

---

学年	小学校 2 年生
教科（授業内容）	音楽（音楽の仕組みを生かし、簡単な音楽をつくらう）
使用教材	プログラミングゼミ
コスト・環境	タブレット ※ iOS または Windows または Android インターネット接続不要

### 学習活動の概要

---

- 主題の目標

- ▶ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくる。

- 主題の内容

本主題は、既習の 4 分音符や 4 分休符、8 分音符や 8 分休符を用いて、手拍子で音楽づくりをする学習である。拍子のまとまりを考えながら、友だちと音を出し合ったり児童自身で試行錯誤したりしながら、音楽の仕組みを生かして音楽づくりをするよさや面白さを味わうことができる。

- 教科の学習とプログラミング教育の関連

小学校におけるプログラミング教育では、「プログラミング的思考」つまり「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」を育むことが求められている。記号を組み合わせながら試行錯誤を繰り返し、「こんな音楽をつくりたい」という児童の思いや意図を実現していく活動をプログラミング教育のプロセスとして関連付けることで、児童の思いや意図の実現、さらには言えば児童の音楽的な創造性を育むことも期待できる。

## 学習指導計画

総時数 3 時間

時	○主な学習活動	・指導・支援 ★評価
1	<p>○「まとまりのある音楽」について知り、どのような音楽をつくりたいかという思いをもつ。</p> <p>○教師の手拍子を聴き、まとまりのある音楽がどのようなものかを知る。</p> <p>○4分音符や4分休符、8分音符や8分休符を用いて、つくりたいリズム譜の構成を考える。</p> <p>○リズム譜を隣同士で演奏し、感想を伝え合う。</p> <p>○音楽の仕組みとして、反復があることを知る。</p>	<p>★活動に関心をもち、音遊びや簡単なリズム譜をつくる学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>★拍の流れを意識することや、音楽の仕組みには反復があることに気づいている。</p>
2	<p>○リズムやパターンを組み合わせ、まとまりのある音楽をつくる。</p> <p>○グループで、つくりたいリズム譜のテーマを考える。</p> <p>○4分音符や4分休符、8分音符や8分休符を用いて、リズム譜をつくる。</p> <p>○他のグループにリズム譜を演奏してもらい、イメージ通りの構成になっているか確かめる。</p> <p>○グループごとに取り組みの成果を発表する。</p>	<p>★反復や拍の流れを意識しながら、つくりたいリズム譜に対して思いをもち、思いを達成するための工夫を考えながら、音楽をつくろうとしている。</p>
3	<p>○プログラムを用いて、複数のパターンを組み合わせ、まとまりのある音楽をつくる。</p> <p>○第2時でつくったリズム譜を演奏し、拍子ごとに録音する。</p> <p>○録音した音を再生するプログラムをつくる。</p> <p>○リズムをつけ加えたり、足音や打楽器の音を追加したりして、グループのテーマにより近づけるようにリズム譜を考える。</p> <p>○グループごとに取り組みの成果を発表する。</p>	<p>★拍子や音を確認しながら、グループでつくったリズム譜をより良いものにしようという思いをもち、構成や音の種類を工夫しながら、音楽をつくろうとしている</p>

## 本時の学習（ 2 / 3 時間）

### (1) 本時のねらい

- リズムを意識して、グループで音楽をつくる活動に取り組む。

### (2) 新学習指導要領上の位置付け

- 音楽 [第2学年]
  - 〔思考力、判断力、表現力等〕A 表現(3)

### (3) 本時の展開

○主な学習活動	・指導・支援 ※資料 ★評価
○前時までの活動を振り返り、本時の活動に必要な要素を確認する。  ○本時のめあてを確認する。	・まとまりのある音楽をつくる ・2拍子の拍の流れを用いる ・4分音符、4分休符、8分音符、8分休符を用いる を確認する。
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">             プログラムをつかって、音楽をつくろう！           </div>	
○録音されている音楽を確認する。  ○グループで音楽をつくる。  ○グループごとに取り組み成果を発表する。  ○グループでつくった音楽に題名をつける。  ○より題名のイメージに近づくために、必要なことを考える。	・プログラミングゼミの録音機能を用いて、児童が普段用いないような楽器の音を録音しておく。 ・1つの音を1秒で録音し、「1秒まつ」と組み合わせてもリズムが狂わないように配慮する。  ・前時までに学習した反復や分岐について確認し、プログラムを用いることで用意に繰り返しができることを伝える。 ・つくりたい音楽に必要な音が録音されていない場合には、音楽準備室や廊下で録音して使ってもよいことを伝える。  ・各グループの作品を映して発表させる。  ・ワークシートに記入させる。個人で考えることが難しい場合には、グループで相談して考えさせる。  ★反復や拍の流れを意識しながら、つくりたいリズム譜に対して思いをもち、思いを達成するための工夫を考えながら、音楽をつくろうとしている。